

道路ネットワーク確保の取組

道路交通の確保

A 国道31号迂回路設置 (7/11)

応急対策として公園駐車場(県有地)に迂回路を設置し早急に通行止めを解除。

B 広島熊野道路の代替路(無料)措置

現道部が通行止めとなったため、迂回車両への対策として実施。



国道31号迂回路 写真提供：中国地方整備局

渋滞対策

広島呉道路の通行止めやJR呉線不通に伴い、中国地方整備局・県・警察等で構成する「広島県災害時渋滞対策協議会」を開催し、国道31号等の渋滞対策を実施。



広島呉道路を走行する臨時輸送バス

C 広域迂回誘導の実施(山陽道料金半額措置7/17~9/27)

山陽自動車道(広島IC~高屋JCT・IC)の料金半額措置を行い、山陽自動車道~東広島・呉自動車道経由の広域迂回ルートへの誘導を実施。

D 臨時輸送バス等の運行支援措置 (7/17~9/8)

広島呉道路の一般開放されていない区間(坂北IC~坂南IC, 天応西IC~呉IC)を活用して、呉~広島間の通勤・通学手段の確保のための臨時輸送バス等の通行を可能に(7/17~9/8)。バスの定時運行のため、国道31号の坂町区間にバス専用レーンを設置(8/9~9/8)。



バス専用レーン(国道31号) 写真提供：中国地方整備局

E SNS等による

時差出勤や相乗り等の協力の呼びかけ

道路情報提供

F 通行可能区間マップの掲載と通行止め解除予定時期の公表

県内各地で道路の通行止めが多数発生したため、通行可能箇所を県のホームページに掲載。通行止め解除予定時期を道路情報サイト「ひろしま道路ナビ」に掲載。



主要道路の通行可能区間マップ



多重型道路ネットワークの有効性

自動車メーカーの部品配送

自動車メーカーでは、山陽自動車道や国道2号の通行止めと、それに伴う渋滞により、部品の配送に大きな影響を受けました。東広島地域からの配送では、中国自動車道や広島高速道路を迂回路として利用し、確実な配送をすることができました。

